

～ 生産者手取り最大化に向けて

令和3年度も実証試験に取り組みます ～

JA全農にいがたでは、令和3年度も水稻栽培における労働費低減、生産性向上に資する技術の実証に取り組みます。その結果について、営農レポートや動画配信等で情報提供していく予定です。

1. 令和3年度に取り組み実証展示圃

実証展示圃	目 的	設置箇所数
スマート農業技術推進 実証圃	・ドローンを活用した一貫作業体系（直播、農薬散布、追肥）による省力化技術の普及 ・ドローンを導入した経営体の経済的評価	5
	・リモートセンシングによる生育量・葉色診断	3
	・自動給水装置の性能評価試験	3
水稻品質向上総合対策 実証圃	コシヒカリの栽培基本技術（土づくり肥料の施用、深耕、適期移植、的確な水管理）の総合的な実践による安定した収量・品質の確保	6
水稻多収性品種 実証展示圃	本県に適した多収性品種の選定や多収技術の普及、コシヒカリと比較した収益性評価	6
合 計		23

2. 内容

(1) ドローンを活用した一貫作業体系

作業時期	新発田市	長岡市	南魚沼市
4月下旬	鉄コ播種・除草剤	(田植え)	詳細は検討中
5月上旬		除草剤散布	
5月中旬	除草剤散布		
5月下旬			
7月中～下旬	穂肥散布	穂肥散布	
7月下旬～8月上旬	病虫害防除	病虫害防除	

(2) ドローン導入による経済的評価

ドローンを導入した村上市、上越市の2法人において、経営面積全体および受託による作業を含めた労力軽減とドローン導入経費から費用対効果を算出する。

(3) リモートセンシングによる生育量・葉色診断

幼穂形成期に小型ドローンによるセンシングデータから穂肥診断の可能性を検討する。また、衛星リモートセンシングによる広域の葉色診断の実用性を評価する。

(4) 自動給水装置の性能評価試験

開水路における低価格の自動給水装置3機種（写真）の性能、および労力軽減効果を評価する。



A社：リモート操作が可能



B社：ゴミ詰まりに強い



C社：止水のみで安価

(5) 水稲品質向上総合対策実証圃

	阿賀野市	長岡市	見附市	胎内市	小千谷市	魚沼市
4月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌診断に基づく土づくり肥料の施用（春または秋） ・ スタブルカルチによる深耕（春または秋） 					
田植予定	5月25日	5月15日	5月15日	5月15日	5月25日	5月25日
6～8月	適期の中干し、穂肥診断による適正な穂肥、間断灌水→飽水管理					
使用資材	農力アップ	苦土重焼燐	苦土重焼燐	ソイルキーパーF e	越後の輝き ソイル米スター	みつパワー

(6) 水稲多収性品種実証展示圃場

コシヒカリと比較した経費および収量性から60kg当たりの生産費を算出する。また、新潟県版の栽培暦の作成、極早生品種のカメモシ斑点米軽減の実証をおこなう。

品 種	地 域	設置個所数
にじのきらめき	阿賀野市、新潟市、三条市	3
ちほみのり	新潟市、糸魚川市	2
ゆみあずさ	阿賀野市	1

(担い手・営農支援部 担い手・営農支援課)

※掲載内容の無断使用・転載を禁じます。